

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

お元気ですか

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

いよいよ 春がきたよ

平成24年3月27日 (火)

第282号

発行 NPO法人ひまわり

岡山県鏡野町羽出 690

理事長 小椋勝好 (編集 美若)

～思わぬ遅雪でした。 害虫に効果は?～

ここ一週間ほど思わぬ雪が続きました。昨日の雪でおしまいにしてほしいものです。これで本格的な春がやってくるでしょう。遅い雪は害虫をやっつけると言いますから、期待したいと思います。

今日の話題

羽出に電灯がついたのは いつ?

奥津小学校の3年生に、昔のことを話すために「奥津町の歴史」等からしらべました。

① はじめて電気を使ったのは?

- ◇ 東京 1887年 (明治20年頃) 発電は石炭を使った火力発電だった。
- ◇ 岡山 1888年 (明治21年) 紡績会社で初めて電灯を使った。
- ◇ 京都 1895年 (明治28年) 電車を走らせた。
- ◇ 津山 1910年 (明治43年) 1442戸 (3, 563灯) に電灯がついた。

② 水力発電所…吉井川は中国地方でも早くから発電に利用された。

- ◇ 井坂発電所 1910年 (明治43年～大正10年) 200KW 津山で使用
- ◇ 羽出发電所 1916年 (大正5年～平成13年) 400KW→2350KW
- ◇ 久田発電所 1921年 (大正10年～平成13年) →9000KW
- ◇ 山戸原 1922年 (大正11年～?) 5KW
- ◇ 奥津発電所 1931年 (昭和6年～現在) →7400KW
- ◇ 泉源 1932年 (昭和7年～昭和23年頃) 出力不詳
 - * 入 (大正9年～) * 平作原 (昭和3年～) * 上斎原 (昭和5年～)

③家に電灯がとる

- ◇ 羽出・奥津 1918年 (大正7年) ◇ 泉源 昭和7年
- ◇ 泉・久田 1921年 (大正10年)
 - * 1軒に2～3灯の電球で、夕方からともす。ランプも使った。(よく切れた)
 - * 二又ソケットは禁止された。(電気代は1灯に付きいくらの計算だった)
 - * 電球の先が とがっていた。(空気を抜いた)
 - * 戦時中は、布のおおいをかけて使った。(灯火管制という言葉もあった)

「ふれあいの里」 次回は4月3日 (火) です。

* 公民館に協力して“ひなまつり”をします。